

## はじめに

東京都世田谷区にある個別指導塾・家庭教師センター「自律学習サカセル」で国語と社会を担当している増田雄介です。

私がこの本を書こうと思ったのは、読解に悩む中学受験生に、文章の「読み解き方」を伝え、「自分なりの読み解き方」(私の生徒には「必勝パターン」と伝えています)を確立してほしいと考えたからです。中学受験を考えている多くの受験生は、集団授業の塾に通っているはずですが、私自身、小学五年生の二月から中学受験の塾に通い始めました。四クラス中の「最下位クラス」から受験勉強を開始。自分なりにどう勉強すればいいのかがわかって、八カ月ほどかけて最上位クラスに到達しましたが、どのクラスでもきちんとした「読み解き方」を習うことはありませんでした。

集団授業の塾の講師になつてから、他の講師の方々の授業を拝見する機会が数多くありました。ただ「読み解き方」についてきちんと教えていると感じられたのは私の師匠でもある玉田尚一先生、山北竜三先生の二名のみ。現在も私が使用している「読み解き方」は彼らから伝授していただいたものを源流として、私が指導を通して思いついたも

のが中心となっています。紙面の都合上、端から端まですべての解法は紹介できていません。

この本では、私が実際に生徒たちに教えている内容から、「これだけは身につけてほしいもの」だけを厳選してご紹介しています。

「書かれている文章を決められた手順で読み、意図をくみ取ること」は、国語だけで必要というわけではありません。算数・社会・理科でも、設問に書かれている条件を整理しながら解く必要があります。中学以降の英語でも、就職の際の試験でも、各種資格試験でも同じことがいえると思います。

子どもたちに必要なのは「自分なりの読み解き方(解法)」だと思っています。この本でご紹介する「再現性の高い戦術」で、その構築の「お手伝い」ができるならば、また昔の私のように何かの面で一本立ちしようという「やる気のある」大人の皆さまのお役に立てるならば何よりです。

二〇二四年八月 増田雄介